



## センター長挨拶



近年、電力需給のアンバランスが問題になっていますが、ITを活用して賢く電気を使い、電力消費の平準化に役立つ未来の家（スマートハウス、HEMS）が注目されています。神奈川工科大学では、経済産業省スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会の事業の一環として、HEMSにおける公知で標準的なインターフェースであるECHONET Lite規格の機器を相互接続したり、テストする環境が整った認証支援センターを開業いたします。

本センターでは、大きく2つの目的があります。1つはHEMS機器を開発している企業様、および、これから新たに機器開発する企業様への相互接続環境を提供し、開発スピードを加速化する支援です。2つ目はHEMSに関するサービスを提供する企業様へ、機器設置・管理に係るトレーニングの場を提供し普及を加速する支援です。

これからは、オープンなプラットフォームの上で新しいビジネスを生み出していく時代であり、今回のセンター開所もそうした時代の幕開けだと確信しています。本センターが皆様に広く利用されるとともに、皆様と共に、新しい価値を創造していきたいと願っております。

HEMS (ECHONET Lite) 認証支援センター センター長 一色 正男

## 経済産業省挨拶



経済産業省は、需要家が起点となってエネルギーを効率的に創り利用できるような社会システムづくりを目指し、中でも、エネルギーをうまく使いこなすスマートハウスの実現・普及を支援しています。その際、鍵となるのが、各家庭にHEMSを導入しそれと家電等とを繋げ連携させることです。そこで、公知で標準的なインターフェースであるECHONET-Liteを推奨する旨本年2月に決定し、現在スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会で更なる具体化を進めています。今般設立されるHEMS認証支援センターは、これらの検討成果を随時踏まえながら認証支援を行い、スマートハウスを実現するモノづくり、システム作りを支援する拠点です。

スマートハウスの普及には、中小企業等の幅広い事業者の参画が重要ですが、同センターが行うHEMS開発支援キットの無償提供等により参入障壁が低くなり、多くの意欲ある事業者の方々が活躍されるものと確信しております。

多くの事業者の皆様方が、スマートハウス市場に果敢に参入され、様々な事業を開花されることを期待しています。皆様方の挑戦をサポートするパートナーとして「HEMS認証支援センター」を積極的に御活用いただければと思います。

経済産業省商務情報政策局情報経済課 課長 佐脇 紀代志

## エコネットコンソーシアム挨拶



エコネットコンソーシアムは1997年の設立以来、CO2排出量の削減、ホームセキュリティやホームヘルスケアの高度化への対応を目指して、ホームネットワークの基盤ソフトウェアおよびハードウェアの開発を進めて参りました。

時代の要請に合わせ、グローバル標準プロトコルへの対応や省エネ機器に加えソーラーシステムや蓄電池などの創エネ、蓄エネ機器への対応を図ったECHONET Lite規格は、公知な標準インターフェースとして国の推奨を得たことにより、スマートハウスのプラットフォームと位置づけられ、今まさに普及のとば口にあります。

この度HEMS認証支援センター様が開所されたことで、相互接続試験や認証をはじめ、機器やサービスの開発が手軽に行える環境が整いました。これを契機にECHONET Lite規格の普及が一層加速するものと期待しております。

今後、HEMS認証支援センター様との連携により、コンソーシアムとしてECHONET Lite規格の普及と発展に向け活動をを進めて参ります。関係各位のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

エコネットコンソーシアム 理事長 種谷 元隆

## 実証事業の目的と役割

### ① HEMS認証支援センターの整備について

現在、HEMS (ECHONET Lite) 機器の認証試験は、各社が準備した実機同士を相互に接続し、相互接続性を確認していましたが、時間と費用がかかり、メーカー各社の協力が必要でした。そのため、中小企業は、これまで機器認証試験（相互接続試験）の実施が難しいとされてきました。

そこで、KAITスマートハウス研究センターは、HEMS開発事業者が、いつでも相互認証が出来ることを目的に認証支援センターを設立、機器の試験が公平かつ効率的に行える環境を提供いたします。

試験仕様と試験システム設計整備については、HEMSにおける公知な標準インターフェース「ECHONET Lite」を有するエコネットコンソーシアムと連携して策定いたします。また、国内外100社を超すエコネットコンソーシアム会員企業を初めとして、HEMS事業に高い関心を持つ、中小企業を含む国内外の企業及び研究機関と連携を推進していきます。

尚、本事業は、経済産業省・NEPC「スマートハウス国際標準化研究事業」の一環として推進されます。

### ② 無料開発支援キットの開発について

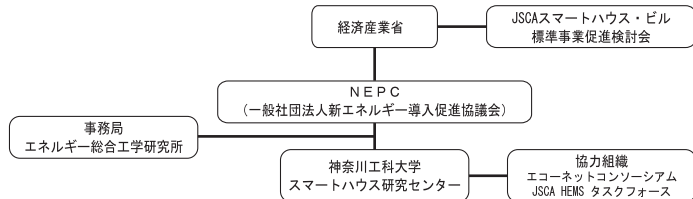
KAITスマートハウス研究センターは、認証支援センターサービスに加えて開発支援キットを提供します。

開発支援キットは、ECHONET Liteを搭載する機器開発経験が無い事業者に対して提供されるHEMS開発支援を目的とするソフトウェアです。開発支援キットは、機器開発やサービス開発を希望する企業が無償で利用することができるため、多くの事業者が短期間でHEMS機器やサービスを開発し、その結果、普及促進を加速させることができます。

### ③ HEMS等のガイドラインの策定支援

中小企業など新たにHEMS事業への参入が期待される事業者のニーズに合致した開発ガイドラインの設計などを支援します。

### ◆ 実施体制図



## 認証支援センターレイアウト



## 認証までの流れ

